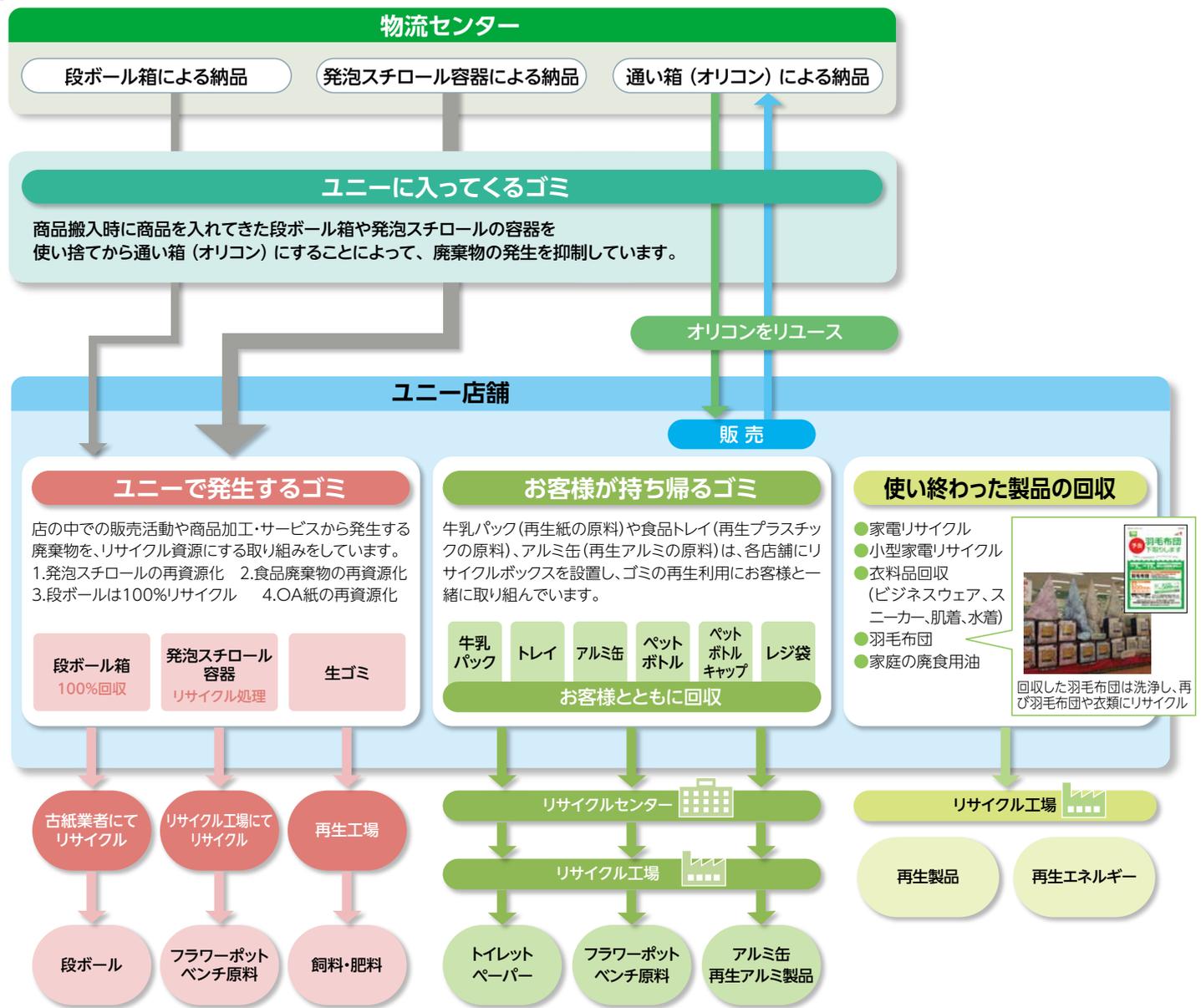


廃棄物を削減する取り組み

企業活動から発生する廃棄物をできるだけ削減するには、廃棄物の発生場所や原因、種類などを正確に調べることが必要です。また発生した廃棄物を再生資源としてリサイクルするためには、適正な分別と保管が大切です。ユニーでは全店舗に廃棄物計量システムを導入し、直営売り場だけでなく専門店や共有部分から排出される廃棄物ごとに、排出場所・19種類に分別し計量しています。この活動により廃棄物の発生抑制やリサイクルを推進しています。廃棄物を削減するために家庭に持ち帰るとゴミになる容器包装を削減したり、使用済み容器包装を店頭回収してリサイクルしています。今後はお客様から使い終わった製品の回収に取り組みお客様とともにリサイクルに取り組んでいきます。

廃棄物削減のための取り組み



廃棄物分別を徹底するために

ユニーの廃棄物分別・計量は直営売り場だけでなく、入店されているコンセッションナリーや専門店、お客様ゴミ箱などの共有部分での廃棄物など店舗から排出されるすべての廃棄物で行っています。廃棄物を正しく分別して計量してもらうために直営従業員・専門店従業員など関連している人たちに定期的に教育を行っています。



「ユニーのゴミ図鑑」と教育用DVD



専門店店長会議での分別教育



バックヤードの廃棄物分別「ゴミステーション」



環境省が実施するPLA-PLUSプロジェクトでプラスチック製品の回収



ユニーで発生するゴミ

ユニーでは2003年度から順次店舗に廃棄物計量器を設置し、店舗から排出される全ての廃棄物を排出場所ごとに分別計量しています。排出場所(売り場、専門店、その他)ごとに管理することで排出責任を明確にし、廃棄物の発生原因を追求し発生抑制に努めています。排出された廃棄物は分別を徹底することで再生資源としての価値が上がり、リサイクルが進みます。

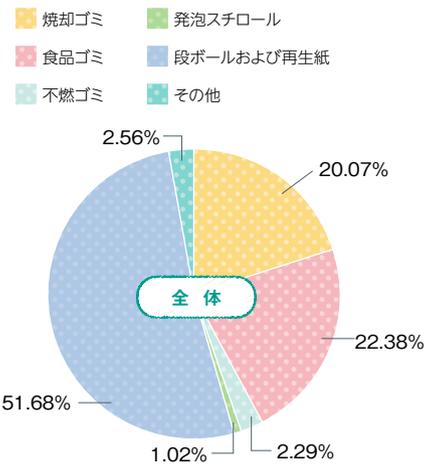
2015年度の廃棄物排出量は2014年度対比99.0%で1%削減しました。多くの種類の廃棄物を削減しましたが食品の売り上げが増加したため、一般可燃ゴミとビニール(食品系)が微増しました。食品ゴミに関しては商品廃棄を削減することによって生ゴミを削減しました。また、魚あらに関しては一部商品をプロセスセンターで加工することにより、歩留まりが高まり廃棄量を削減しました。納品時にオリコンやクレートを使用して排出量の多い段ボールを削減し、今後は容器包装自体を簡素化したり軽量化して廃棄物の排出量を削減していきます。そして排出された廃棄物は正しい分別によって再生資源としてリサイクルを進めていきます。

◆廃棄物排出量

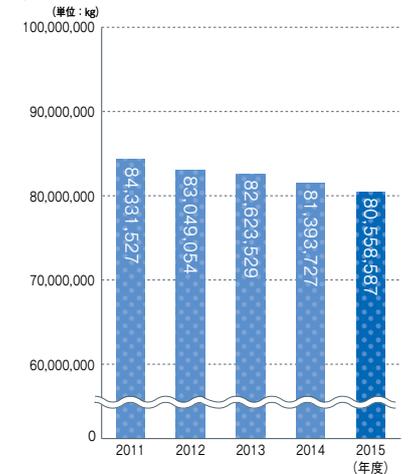
(単位:kg)

区分	種類	2013年度	2014年度	2015年度	前年比[%]	
可燃ゴミ	焼却ゴミ	一般可燃ゴミ	11,994,522	11,900,222	12,086,549	100.8%
		ビニール(食品系)	4,177,479	4,053,758	4,084,461	100.8%
		小計	16,172,001	16,043,980	16,171,010	100.8%
	食品ゴミ	生ゴミ	14,035,060	13,981,999	13,722,833	98.1%
		魚のアラ	2,322,053	2,236,762	2,088,226	93.4%
		てんかす	964,936	964,119	981,157	101.8%
		廃食用油	1,327,618	1,249,435	1,233,678	98.7%
小計	18,649,667	18,432,315	18,025,894	97.8%		
不燃ゴミ	ビン	1,129,825	1,223,503	1,395,634	114.1%	
	缶	482,476	470,864	446,920	94.9%	
	小計	1,612,301	1,694,367	1,842,554	108.7%	
発泡スチロール		903,002	829,406	823,188	99.3%	
段ボールおよび再生紙	段ボール	40,681,559	39,826,230	39,175,684	98.4%	
	紙類(再生可)	2,472,695	2,507,907	2,459,340	98.1%	
	小計	43,154,254	42,334,137	41,635,024	98.3%	
その他	プラスチック	440,255	439,724	428,814	97.5%	
	ビニール(衣住系)	951,686	888,302	866,917	97.6%	
	ペットボトル	380,054	378,632	415,764	109.8%	
	陶器・ガラス	114,404	107,877	107,794	99.9%	
	金属カス	133,654	138,154	145,619	105.4%	
	その他	112,251	106,833	96,008	89.9%	
	小計	2,132,304	2,059,522	2,060,916	100.1%	
合計		82,623,529	81,393,727	80,558,586	99.0%	

◆廃棄物構成比率



◆廃棄物総排出量の推移



廃棄物計量システム



売り場では廃棄物を種類ごとに別々の容器に分けて入れます。混ぜてしまうとリサイクルできないので、容器に入れる時にきちんと分別します。



廃棄物は排出場所・種類ごとにバーコードで管理し、計量器に載せ、重量を計ります。



シールを発行します。同時にデータは事務所の端末に記録、集計され、本社の端末に送信されます。テナントや売場には毎月集計された結果が告知されます。



計量した廃棄物は、それぞれ温度管理された廃棄物庫で保管されます。腐敗しやすい食品廃棄物などは冷蔵保管されます。